

みさけ福祉だより

第64号（令和5年10月1日発行）

発行所
味酒地区社会福祉協議会
地域福祉サービス事業
事務局



味酒小学校
校長 原 佳嗣

命と笑顔が輝き続けるために

日ごろから私は、「出会いは一瞬、付き合いは一生」という言葉を大切にしています。まさしく、この言葉を味酒小学校において実感しています。みなさんは、二〇年前はどのような生活をしていましたか？

私は、二〇年前にも味酒小学校で一年間勤務しています。それから一〇年経って再度の勤務になり感慨深いものがあります。子どもたちは、今を生きています。学校の周りの様子はいろいろ変化したものの、校舎配置や味酒っ子の明るい笑顔は今も変わっていません。子どもたちは、味酒小学校でたくさんの人に出会い、様々なことを学んでいきます。子どもたち一人一人の出会いが素晴らしいものになるように、味酒小学校では地域の皆様と力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。そこで、味酒小学校を知っていただくために、学校の紹介をさせていただきます。

味酒小学校は、一三七年の歴史と伝統を継承・発展させ、子どもたちと向

き合う時間を確保し、一人一人の「生きる力」を育み、味酒魂を発揮できる子どもの育成に取り組んでいます。また、文化財や史跡、地域の人材に恵まれた「味酒野」の教育的財産と地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開し、「ふるさと味酒」を愛し、持続可能な社会に貢献できる子どもたちの健全育成に努めています。

「あらゆる未来の花は今日の種の中にある」これは、私が好きな外国のことわざの一つです。子どもたち、それぞれに様々な夢があり、一人一人が素晴らしい可能性を秘めています。今日をどう過ごしていくかが、未来の夢につながる小さな一歩になっていきます。子どもたちを取り巻く社会は、急速に進展・変化しています。地域とのつながりを大切にして、子どもたちの夢や思いを大切にしていきたいと思います。今後とも、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



笑顔いっぱいの一年生を迎える会



ごみ出しが困難な一人暮らしの高齢者のご自宅に、清掃課の職員が訪問し、ごみの収集（粗大ごみ以外）を行います。

※可燃ごみ、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙類、金物・ガラス類、埋立ごみ、水銀ごみに分別する

申込受付

令和5年 1月11日(水) から、受付を開始

対象者

- 次の(1)～(3)のいずれかに該当するごみ出しが困難な方
- (1) 65歳以上の一人暮らしで、要介護1以上
 - (2) 65歳以上の一人暮らしで、身体障害者手帳1級・2級
 - (3) その他、特に必要と認められる者



収集開始までのながれ

- (1) 本人または代理人が、清掃課(921-5516)に電話で連絡
- (2) 希望者の自宅へ訪問し調査を行います。高齢者の負担軽減のため、清掃課職員が申込書を持参し記入後、お預かりします。
※「介護保険被保険者証」または「身体障害者手帳」の写しが必要となります。
※申込書は、松山市ホームページに掲載するとともに、清掃課の窓口にあります。
- (3) ごみ箱の設置場所や排出方法の打ち合わせを行います。
※ふた付きのごみ箱は清掃課でお貸しします。
- (4) 収集開始日の通知

【収集開始】 令和5年3月1日(水)から収集を開始（収集は週に1回）

【連絡先】 ☎790-0026 松山市室町1丁目2-1 松山市役所 環境部 清掃課 TEL:089-921-5516 FAX:089-921-6311

受賞おめでとうございます

松山市民生児童委員協議会会長表彰
優良民生委員児童委員

石本 政志

浮穴 公孝

鎌田 昭義

塩濱 ツヤ子

山田 玲子

松山市長表彰

民生委員児童委員功労者

戸田 さつき

民生委員児童委員永年勤続者

滝田 千秋

丹生谷 千代

地域福祉活動功労者

鎌田 弥栄

和食 紀里子

松山市共同募金会会長表彰

共同募金運動奉仕功労者

山本 直美

共同募金のお願い

今年も十月一日から全国一斉に共同募金運動がスタートしました。皆様から寄せられた温かい真心は味酒地区社会福祉協議会の活動や地区のいろいろな行事に役立てられています。

皆様のご協力宜しくお願い致します。

編集後記

今年の夏は記録的な猛暑、大雨など各地で甚大な被害がでています。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。日頃の地域での声かけ、自分の身を守る備えが大事だと思います。

今号は新任の味酒小学校校長先生・味酒公民館館長にもご協力賜りました。

皆様ありがとうございました。

「人生二〇〇年時代」に思う



味酒公民館
館長 渡部 清

厚労省は一〇〇歳以上の人が九万人を超えたと発表。六〇年前の調査開始時の一五三人から、この数字は増え続けている。健康志向、医療や栄養、環境衛生、介護等の充実も大きな要因である。そして、調査ではこう続く。健康寿命世界一の日本の子供達、その半数は一〇七歳以上生きたと。

人生二〇〇年時代。この言葉のきっかけは、イギリスのリンダ・グラットン教授の著書「ライフシフト」による。教授の提言から、長寿化により変化する働き方や生き方が注目されるようになった。

これまで描かれていたライフステージ「二〇年間の学び、四〇年間の労働、引退後の人生二〇年」は、今後

は通用しない。老後の暮らしは変えなければならぬ。「退職後、趣味に生きる」では、あまりに時間が長い。

誰しも長生きを願うが、人が働かねばならない年齢は八〇歳前後まで伸びる。

一生働き詰めの人生と嘆くかもしれない。が、働くことは経済の安定と同時に、長い人生を豊かにすることと繋がる。「事業を始める」「非営利活動」「ボランティアを始める」など、幅広い働き方で退職後も社会参加を続けていく。そのことは生きがいにも繋がる。人は何らかの形で人の役に立っているとき、最も幸福感を得られる。

一方、平均寿命が伸びる裏側には、資金寿命の確保という課題を伴う。長生きに足る十分な資金があるか。長い人生を生き抜くには今以上に長く元気に働き、稼ぎ、社会と繋がっていないといけない。

退職金の減額。年金さえも、少子

高齢化の中、制度そのものの破綻まで懸念する。老後の資金不足はすでに始まっている。

この問題に対応するには、退職金、年金だけに頼らず、貯め方、使い方、資金運用、働き方などを変える必要がある。退職後も収入を得る努力が必要である。

そのような中、私はボランティアのつもりで中学校講師を始めた。七〇歳過ぎの老人に学校勤務は少々ハードではあったが、それ以上に、生徒や教職員仲間から活力をいただき、元気が湧いてきた。その上、思ってもなかった資金の拡充にも多少繋がりをうれしい。

三つ目の課題は健康。最近とみに体の機能低下を感じる。目が見えにくい、耳、脳、筋肉の衰えが年々増す。体は血管が悪くなると老化が始まる。仕方ないと思っていた。

しかし、愛媛大学大学院伊賀瀬道也教授の言葉に少し救われた。「運動や食事といった生活習慣を変える

ことで老化のスピードは改善できる。老化は病いの一つであり、治療の対象である。」

一〇〇歳まで生きるつもりも自信もありはしないが、健康診断等で、老化という病いをチェックし、運動や機能訓練、生活習慣、食習慣の改善等の治療に努めたい。病は気から。精神的に老けないことが最大の治療かもしれない。

六〇歳前にパソコンを独学、八〇歳でアプリの開発をした世界最高齢プログラマー若宮正子さんは言う。「人生六〇歳を過ぎると面白くなる。学び直し、学び続けることが大事。高齢になっても社会参加しましょう。」



地域への貢献



味酒三丁目にお住まいの、民生児童委員の三島雅幸さん（74才）が、高齢クラブの純増運動に於いて、加

入促進に積極的に取り組み、大きな成果を上げられました。その努力が認められ、今年度、松山市高齢者クラブ連合会と愛媛県老人クラブ連合会より表彰されました。

三島さんは、53才の若さで、味酒地区高齢クラブに入り、その後「味酒銀の会」と名称が変わり、活動を続けています。

定年退職後、町内会長と民生児童委員に就任、銀の会では、色々な役割を経験して、銀の会会長と南味酒公園会長に就かれました。

また、銀の会では、当初80名の会員が、高齢のため49名に減少しまし

たが、60才から90才までの方々が活動されているそうです。

南味酒公園では、きれいな公園を保つため、当番を決めて、水やりと掃除を欠かさないそうです。気になるご本人は、ほぼ毎日顔を出して手伝いをされています。

このように、多方面での活動に尽力されている三島さんですが、『何も大した事してないですよ。気になるので動いているだけです。色々しているから張り合いが有り、元氣のもとなんですよ。』と謙虚にさらりと話して下さいました。

今後も、健康に気を付けて、益々地域の方々の為に活動が続けていただきたいと思います。



福祉講座のご案内

一、9月13日 (水)

講師 NPO法人こどもリエンえひめ

理事長 山内 幸春氏

内容 児童福祉や児童虐待防止に関する事について（開催済）

一、10月25日 (水)

講師 松山市地域包括支援センター

味酒・清水 岡崎 容子氏

内容 認知症になっても安心して暮らせるように

一、11月16日 (木)

講師 愛媛県在宅介護研修センター

金子 由美子氏

内容 高齢者とのコミュニケーションについて

傾聴と上手な声掛けの仕方

会場 味酒公民館 3F
時間 13時30分

※参加してみようと思われる方は近くの民生委員に声をかけ是非、参加して下さい

夏まつり

味酒公民館主催の夏まつりが、7月29日(土)4年ぶりに開催されました。

土曜夜市と重なりましたが、地域の皆様が多数参加され、売り切れのブースが続出していました。

暑さの厳しい中、汗を拭き拭き、楽しく、にぎやかに大盛況でした。運営をして下さった方々、ありがとうございました。

